

科目名		授業形態	担当教員名	
中枢神経系理学療法学Ⅳ		講義・演習	窪津 秀政	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
15 時間 （ 1 単位）		8 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
脊髄損傷の病態を理解し、評価方法の理解、手技を獲得し、レベル判定が可能になるようにする。基本動作練習や応用動作練習を通じADLが自立していく過程を講義、実技を通じ教授する。評価からのゴール設定を立てられるようにし、理学療法プログラム立案および施行できるよう指導する。				
授業の到達目標				
1. 脊髄損傷の病態・評価方法について説明することができる。 2. 損傷レベル別の理学療法・日常生活自立度についても関係づけ模倣することができる。				
授業計画				
回	内容			
1	脊髄損傷について（疫学、病理、病態、合併症など）			
2	脊髄損傷の評価			
3	頸髄損傷の理学療法（急性期から回復期にかけて）			
4	胸腰髄損傷の理学療法（急性期から回復期にかけて）			
5	（実習）脊髄損傷者を迎えての実技			
6	不全型脊髄損傷の理学療法			
7	（実習）不全損傷者を迎えての実技			
8	ADLと住宅改修			